

平成 21 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	人とロボットの共生による協創社会の創成	
領域代表者名	三宅 なほみ （東京大学・大学院教育学研究科・教授）	
研究期間	平成 21 年度～ 25 年度	
<p><b>【科学研究費補助金審査部会における所見】</b></p> <p>本研究領域は、認知科学・学習科学とロボット工学との融合により、協創的な社会の実現のための新たな学術領域の創成を目指した意欲的な提案である。協創実験にロボットを用いることは意義深く、ハードルの高いコミュニケーション問題に対して、ロボットを使う利点を「良い聞き手」に特化することで、良く計画された内容となっている。ロボット工学研究への寄与も十分に期待される。システムの協創、関係の協創、知恵の協創という 3 つの研究項目の構成は、本研究領域の全体像を適確に表現しており、各研究項目で独自の挑戦的な課題を掲げていると同時に、研究項目間の有機的な連携も図られている。認知科学の分野で高い実績のある領域代表者の下、ロボット工学の第一線の研究者を中心としたチーム構成は、領域代表者がロボットという道具をどのように使うかという点においてチャレンジングであるが研究成果は充分期待できる。具体的な到達目標をさらに明確にしつつ、研究を遂行することを期待する。</p>		